

令和4年（2022年）7月8日
都市経営部創造改革課

豊中市南部地域における将来の交通インフラの考え方（素案）に関する意見募集の結果について

令和4年（2022年）6月9日～6月30日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

（1）集計結果

①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
1	郵便	0	0
2	ファクシミリ	0	0
3	電子メール	0	0
4	電子申込システム	1	3
5	所管課への直接提出	0	0
6	その他	0	0
	合計	1	3

②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数（人）	意見件数（件）
ア	市の区域内に住所を有する者	1	3
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	0	0
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者	0	0
エ	市の区域内に存する学校に在学する者	0	0
オ	市税の納税義務者	0	0
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの	0	0
	合計	1	3

(2) 提出意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	提出意見の概要	市の考え方
1	素案 P2	三国塚口線を開通させ、交通の便を最大化すれば、学校跡地にショッピングモールや物流センターを容易に誘致でき、人を呼び込むことや住み続けたい環境づくりにつながるのではないかと考えています。	三国塚口線の整備においては、都市計画決定区間においても事業主体である大阪府と協力して取り組んでいきたいと考えています。 また、学校跡地については、地域の特色である音楽やものづくりといった要素も取り入れながら、新たなまちの魅力、にぎわいの拠点となるよう取り組んでまいります。
2	素案 P3	名神高速豊中インターチェンジを見直してはどうか。名神高速豊中インターチェンジから阪神高速上り線に向かう区間で夕刻慢性的な渋滞が発生している。車線を増やすなどにより渋滞を緩和し、便利な立地とすれば、企業や若年層を呼び込めるのではないかと考えています。	インターチェンジの整備は現在予定されておりましたが、渋滞緩和について関係機関と内容を共有いたします。
3	素案 P8	神崎川駅は大阪市内の駅であり、豊中市の発展を考えると、豊中市内に新駅を設けことが理想。大阪池田線と阪急神戸線の交差点近辺に新駅を設け、大阪池田線に沿って空港まで地下でつなぎ、その間も何か所か新駅を設けることで、西部や空港線沿いの活性化にもつながるのではないかと考えています。	駅の設置については、需要予測や費用対効果など、様々な視点から慎重な検討が必要であると考えています。